

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	工房アプリコ・シニア世代の活躍による、 「あんずの里」の保護・振興の好循環の創出
事業主体 (連絡先)	工房アプリコ (026-214-5058)
事業区分	6 産業振興、雇用拡大に関する事業 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	8,281,863 円 (うち支援金：4,726,000 円)

事業内容

- 1) 本年度は「ビン・かん詰食品製造業」の許可を取得。但し、あんず加工の時期には間に合わず、本年も「県しあわせ信州食品センター」にて、ジャム・シロップ漬けを製造した。
- 2) ホームページ、フェイスブックを開設。特に、フェイスブックは、現在操作方法の研修中。順次、情報発信を積極的に行い、千曲市森の良さをアピールして行きます。
- 3) 昨年度の支援金で導入した、乾燥機を活用し、ドライフルーツの品目を広げ、商品作りデザインを「県地域資源製品開発支援センター」にお願いでき、銀座 NAGANO でもモニタリングをしていただいた。



【ホームページ、フェイスブック】

【目標・ねらい】

- ① あんずの木を少しでも増やす。
- ② シニア世代の女性の活躍の場を増やす。
- ③ 地域振興のモデルケース創り。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1) 「ビン・かん詰食品製造業」の許可は予定より遅れてしまったが、従来県の施設をお借りしなくて出来るため新鮮なあんずでの加工が可能となる。
- 2) ホームページ、フェイスブックを開設も、予定より遅れ気味であるが、今後しっかり活用したい。
- 3) 新商品は、ホテル信濃路様の採用などで確実に販路が増えている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1) あんず以外の規格外農作物活用も地域の方々から、要望が多いためそれらの要望にも応えて行きたい。
- 2) 千曲市の体験型観光メニュー開発に参画しており、観光面でも貢献して行きたい。

※自己評価 【 B 】

【理由】

- 1) 昨年度の事業で、大賞・知事賞を頂くことが出来た。
- 2) その事業の拡大は着実に進んでいる。
- 3) 但し、本年度の事業については、計画より実施が遅れており成果が出るのは、来年度以降となってしまう。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある